

福祉産業建設委員会

協議会
2月8日

令和6年度 待機児童ゼロを継続見込み



元気に遊ぶ園児

問 育休退園対策の考えは。

入所決定通知は全ての保護者に送付済み。

予定394人（入所率79・8％）。

認定こども園及び地域型保育事業所

定員494人、入所率70・0％）対前年度34人減。

●認定こども園及び地域型保育事業所

定員1315人、入所率70・0％）対前年度34人減。

●町立保育園

令和6年度の保育所および、放課後児童クラブの受入状況報告を受けた。

答 令和5年度2月現在30人。未満児保育の必要性の高い人を受け入れる。段階的にも、緩和できないかと考えて始めている。

●放課後児童クラブ

定員610人、申込児童数1080人。受入予定1078人、見合せ2人。

出席者数平均は50％60％であり、受入可能と判断。

出席者数平均は50％60％であり、受入可能と判断。

長嶺北部地区福祉医療ゾーン開発構想の進捗

実施設計の段階で、県と協議し、新設町道と区域北側道路を接続する必要性と道路完成時期のアドバイスを受けた。造成計画平面図の変更、町道整備を行う政工事に先行させるスケジュールを見直す。（その他17項目を協議）

総務教育委員会

協議会
2月9日

第3次 男女共同参画プラン を策定



「男性の料理教室」に積極的に参加する住民

22・6％。

答 平成30年度4・5％、令和5年度は

問 役場職員の女性管理職は5年間でどう変化したのか。

理念を基に、女性が参画できるような男女役割など無意識に考えてしまう意識の改革を重点に施策づくりしていく。

答 理念を基に、女性が参画できるような男女役割など無意識に考えてしまう意識の改革を重点に施策づくりしていく。

問 災害時、避難所開設時は女性の活躍は大事。女性の参画しやすいしくみづくりは。

災害時、避難所開設時は女性の活躍は大事。女性の参画しやすいしくみづくりは。

男女ともに多様性を尊重し、住みやすい街づくりになるよう男女共同参画プランが立案される。



地域住民とサツマイモを植える児童

（その他13項目を協議）

構成員にある保護者の対象想定は。

答 PTA役員や読み聞かせボランティアなど学校に関わっている保護者などから選出予定。

問 構成員にある保護者の対象想定は。

学校と家庭・地域全体で子どもたちの未来を育む教育を実現するためにコミュニティ・スクールで協議していく。

学校と家庭・地域全体で子どもたちの未来を育む教育を実現するためにコミュニティ・スクールで協議していく。

幸田町コミュニティ・スクールが全小中学校に設置

DX推進特別委員会

協議会
2月7日

デジタル化推進の議論 深まる

DX推進方針および個別取り組みが議論された。

問 デジタル化には抵抗がある。

答 教育を続けながら、当面は紙との併用で抵抗感を払拭する。

問 福祉タワシーのデジタル化では残高表示等、高齢者に配慮した対応は。

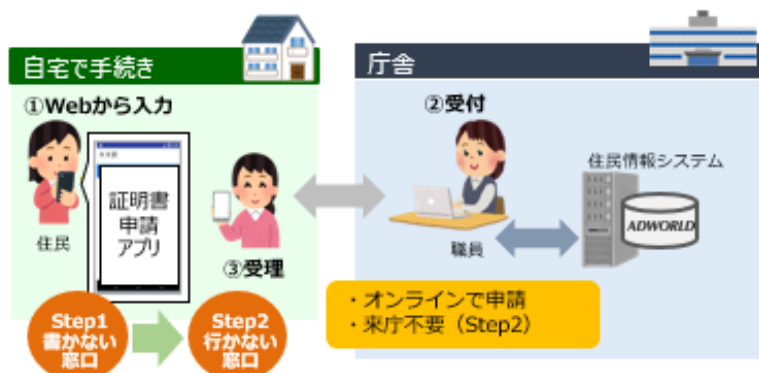
答 将来は交通系ICカードで残高表示等に対応する。

問 外国籍住民への対応は。

答 多文化共生は重要。関係部署と調整し進める。

問 ホームページ等で行政用語等表現が難しく、利用したい項目にたどりつかない。

答 分かりやすい用語表記に努める。



(山口県周南市のHPより「出典：株式会社日立システムズ」)

問 DX推進はいつまでに完了するか。

答 国の補助金対象業務は2025年を目標としている。

問 町公式LINEの登録促進は。

答 広報誌やホームページで周知する。

視察受け入れ
1月31日

兵庫県稲美町議会 広報視察研修に来庁

約10年ぶりに稲美町議会が議会広報誌の視察研修に来られた。

2時間の意見交換で、お互いに編集の苦悩や新しい観点到に気付くことができた。

●稲美町議会の主な発言

・10年前の幸田町議会だよりの全面写真の表紙に感動し、それから取り入れている。
・全ページカラーにするのと高価になるのでは。

・全員が一般質問をするので、誌面が小さくなり苦労する。
・QRコードをつけることで、紙面に全て詰め込む必要がなくなる。

●所感

読みやすさを守りつつ、新しさも加えて変化させていくことは、常に考える必要があり、視察研修を受け入れる

側ではあったが、新人委員が多いため学ぶことも多かった。

幸田町総合計画
勉強会
2月2日

2016年から10年間の第6次総合計画があと2年で終了する。進捗状況を確認するとともに、さらに第7次総合計画に向け、基本を学ぶ勉強会を行った。



総合計画勉強会